

住宅宿泊事業(民泊)を活用したファンド組成に関するお知らせ

三菱HCキャピタルリアルティ株式会社(代表取締役社長:若尾 逸男)は、三菱HCキャピタル不動産投資顧問株式会社(代表取締役:遠又 寛行)と協働して住宅宿泊事業(民泊)に資する住宅を投資対象とする私募不動産ファンド(以下、当ファンド)を組成したことをお知らせします。三菱HCキャピタルリアルティは、民泊事業を手掛ける matsuri technologies 株式会社(代表取締役:吉田 圭汰)と三菱HCキャピタルのイノベーション投資ファンドを活用した資本業務提携契約を締結^{*1}しており、当ファンドは matsuri technologies との業務提携の一環として組成した 1 号ファンドです。

当ファンドは、東京都内に所在する新築レジデンス 3 物件を投資対象としています。住宅アセットの投資運用に関して、民泊という付加価値の創出に取り組むとともに、増大・多様化する宿泊需要による宿泊客室数の不足といった社会課題の解決を図るものです。当ファンドのアセットマネジメント業務は、三菱HCキャピタル不動産投資顧問が担います。

また、matsuri technologies のデジタルトランスフォーメーション(DX)を導入することで民泊と短期賃貸住宅(マンスリー)のハイブリッド運営を可能とし、かつ、完全非対面・遠隔での効率的な運用を実現します。

当ファンドは不動産証券化スキームを活用することで、民泊市場において、投資家資金の有効活用と良質で適法な民泊施設の供給を実現する取り組みです。本取り組みにおいて、三菱HCキャピタルリアルティの資本業務提携先であり、国内最大級の民泊運営事業者である matsuri technologies と協働することで、健全な民泊市場の発展に貢献していきます。

^{*1} 2024年2月15日ニュースリリース「三菱HCキャピタルとmatsuri technologiesが資本業務提携契約を締結」
<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/investors/library/pressrelease/pdf/2024021501.pdf>

■客室写真



■三菱HCキャピタルリアルティ株式会社について

三菱HCキャピタルリアルティは、オフィスやホテル、商業施設等の再生投資事業に幅広く取り組み、専門的な知見と実績を積み上げてきました。2025 年 4 月には三菱HCキャピタルの国内不動産ファイナンス事業を継承し、両社のナレッジを統合することで、資産回転型ビジネスを中心とした「不動産投資事業」と安定性のある期中収益を生み出す「不動産ファイナンス事業」の両軸による事業を展開しています。今後も不動産マーケットの環境変化に対応する事業創出と安定したポートフォリオの構築をめざします。

■三菱HCキャピタル不動産投資顧問株式会社について

三菱HCキャピタル不動産投資顧問は、三菱HCキャピタルが設立したアセットマネジメント会社で、三菱HCキャピタルグループ内外の投資家から組成される私募不動産ファンドのアセットマネジメント業務や三菱HCキャピタルグループがスポンサーとなる三菱HCキャピタルプライベートリート投資法人の資産運用業務を受託しています。

三菱HCキャピタル不動産投資顧問では、三菱HCキャピタルグループの知見を礎とする「投資力」、「運用力」を生かし、投資家ニーズに応じた投資機会を提供しています。

以 上